

風雄叫ぶとも何ぞ
やがてもあくる讃歌の
四、武香陵頭空高く
雄は揚ぐる自李の二字
五、千ぶりの領名は隆堯
天空翔る鷲のひな
間の御書に身を假り
常磐松の色添て
六、紫宸ゆるがぬ岡の上
示す理想の朝の色
七、千代の香をたきこめて

恐れる誰も物ならず
煙は遠く鏡に入る
世の潮流に掉じて
則る難針に西郷領
健児が腰に聲を飲む
雲を傍つなる龍の兄が
脣山の風に胸をとき
是頃愛に十二年
五城のいらか鮮やけ
今日前え出る若草に
自治を歌はん諸共に

北 紫々 歌

下調

5.5 5 | 1.1 1 | 2.2 1 2 | 3.0 | 5.5 3 3 | 1.1 1 | 6.6 1.1 | 5.0 |
5.5 5 5 | 3 5 1 2 | 3.3 2 1 | 2.0 | 3.3 5 6 | 5.5 3 1 | 2.2 2 2 | 5.0 |
5.5 5.6 7 | 1 1 1.2 3 | 5 5.6 | 5.0 | 6.6 5 5 | 3 3 1 1 | 2 2 5.5 | 1.0 |

一、暴風驟然海われて
長白山頂月缺く
天地にはびる潮勢は
二、さばれ我すむ向陸の

東亞の生は嘆はやし
洞庭湖邊氣薄ち
大和島嶼にはせんとす
柏に環じき匂あり、

一、石炭のりむり空とて
二、なみも煙も犯し僻で
獨り立らん燈籠の
深き其間被らんと
三、無限の油底ひなき
天の浮橋空高く
潮しきませしみ鋒より
我大八洲治む可く
四、柏葉繁き木しげより
天下憂へて自治の旗
其燈台の初光り
背祝ひて未思ふ
五、春はわまねき五大洲
立てん柏の旗の上
草より出て草に入る
帝都百万夢さめて

暗にいくる大洲
千吉の煙の富士が奉
是にも似たらん我發り
てらす光は西郷領
自治の泉に湧き出で
たゞせる神戸二柱
たりし聲のこのこらや
みことかしのみ天孫の
峯にも此ひん此陵か
見下す様は日に非なり
尙武にきたく友千余
其峯の上の柏
歲春朮に十年
ヒマヤ山の峯富く
金鶴かくやく時晴して
月をも見けん武さしの
仰くは自治の奇縁矣

大學生諸氏の歌、(箱根八重の諸)

我一高は天下の雄
護國の旗、一千の士
世は塵にまかれ人は夢を追る
體固し武香陵頭
天下に立つ可まざりますらか萬巻胸に鐵骨堅く

ベドリシエール何せん
陸になびき世界に廣頤す
自治を立てゝ十有二年
一致共守れる健兒を勇しき
天下に立つ可まざりますらか萬巻胸に鐵骨堅く

清き心の青年が
麗れる自治の力は
三、創業以來十二年
だけく雄々しき健兒等は
四、朝沙ふく風に震へし
千世万世の永までも
五、守成の事は難じとも
ゑぐりも斯なる
雲井に高き歡喜は

詠ひ聞めと國に
國をも照らす光あれ
勤僕奮武を歌ひだす
正義の旗を打立て
莫那の風をふるへるや
うつらふ時はながるらん
すてね丈夫の意氣一つ
官衙の春を感ふつゝ
今日を樂しき記念祭
五つの城にひゞくなり

中 紫々 歌

下調

5.3 1.5 2.2 2 | 1 2 3.3 0 | 1 2 3.3 2 5 5 | 5 3 2.2 3 0 |
5.3 1.5 2.2 2 | 1 2 3.3 3 0 | 1 2 3.5 2 5 5 | 5 3 2.3 1 0 |
3 5.3 5 5 3 2 | 1 5 3.2 1 | 2.2 1 2 5.5 5 | 6 5 1.2 3 0 |
5.3 1.5 2.2 2 | 1 2 3.3 3 0 | 1 2 3.3 2 5 5 | 5 3 2.3 1 0 |

一、木芽も春の朝はらけ
都下百萬の花の夢
彼る時は武香陵
西の國より折する
浪に西海に任せつゝ

四海の中を轟させ
斯くそわらなん武陵の健兒等
我自治は天下の懸
イートン、ヨナも何かせん
四條の網領、五稟の祭
胸に治め、陵に壁ゆ
世は塵にまかれ人は夢を追る
澤世避けて十有二年
體固し武香陵頭
一致共守れる健兒を現しき
四海に霸たらん大和大丈
石心磨き鐵騎きたへ
天地の中を轟かせ
斯くそわらなん武陵の健兒等
我学生は男子の粹
鰐橋牛津何せん
二條の線、柏葉の章
頭にまとひ身にぞかほる
世は塵にまかれ人は夢を追る
慶辰経ちて十有二年
誓は固し武香陵頭
一致共守れる健兒を勇ましき
宇内に霸たらん倭大丈夫
勤僕奮武勵精屹咤
社會の夢を轟させ
かくそわらなん武陵の健兒等

樂 詞 集

當日音楽隊の奏曲なり、配して聊其勢に報す

- König Karl march
- Yorksche march
- Turkish march
- Georgia march
- Marsailles
- ail columbia
- Beautiful River march
- Prussia march
- Quick march,

(十) 墓代、(十一)勝はりたる (十二)國歌行進 (十三)安城渡
(十四)春紫々歌 (十五)聖城の月 (十六)箱根八重 (十七)聖は幾
萬 (十八)大捷軍歌 (十九)國守る (二十)春紫々歌 (廿二)六段